

市東さんの農地を守ろう！ 戦争をとめよう！

3. 29 全国総決起集会へのメッセージ

部落解放同盟全国連合会

中央執行委員長 瀬川 博



私たちは何よりも3月4日の控訴審第4回公判で小林昭彦裁判長による突然の結審を徹底的に弾劾します。反対同盟弁護団が1審千葉地裁の多見谷判決を完膚無きまでに反論し尽くした控訴理由書を提出し、市東孝雄さんの2度にわたる陳述で成田空港会社と千葉県を決定的に追い詰め、逃げ回っていた空港会社と千葉県の悪あがきである「反論」書を12月3日に引き出しました。まさに第4回公判は、いよいよ本格的な闘いが始まる新たな出発点だったのです。1審多見谷判決の反動性が暴き尽くされる事に恐怖して強引に審理打ち切りを強行したのです。絶対に許せません。

日本帝国主義の農地強奪を阻止続けた「一切の話し合い拒否！農地死守！軍事空港粉碎！」の闘いによって破産した成田空港を何とかとりつくろうとして耕作する農民を守るための農地法をねじ曲げ農地を強奪しようとしたところにすべての問題があるのです。追い詰められているのは日本帝国主義と空港会社です。こうした連中を救おうとしているのが東京高裁小林裁判長です。まさに正義は市東さんや反対同盟、たたかう労働者人民にあります。勝利の確信を持って闘いを広げ最後まで闘うことが勝利の核心です。私たち部落解放同盟全国連合会（全国連）は半世紀近くともに闘った同志として最後の勝利までともに闘います。

私たちは昨日～今日と第24回全国連全国大会を開催しています。大会において私たちは安倍政権の原発再稼働、沖縄新基地建設、侵略戦争と憲法改悪攻撃と真っ向から闘う方針を打ち出します。安倍による矢継ぎ早の攻撃は強さを表すものではありません。帝国主義の矛盾が体内から吹き出し、危機乗り切りのために絶望的に凶暴化しているのです。原発再稼働反対！反基地！憲法改悪阻止を掲げて闘えば必ず勝利します。沖縄、佐賀、滋賀知事選はそのことを示しています。戦後70年の今年こそ安倍政権を打倒の年とし

ましょう。

安倍政権との対決と結合し、さらに狭山闘争の勝利、事実調べ・再審を勝ち取るために全力を出します。昨年の証拠リストの開示は大きな一步前進ですが、安心はできません。1 審を担当した浦和地検、狭山警察署などに重要な証拠が隠されているのは確実です。こうした証拠も含めてすべて開示させなくてはなりません。また、今まで開示された新証拠について東京高裁に事実調べを開始させなければなりません。この1 年が勝負の年です。ともに闘いましょう。さらに住宅追い出しとの闘い、生活を守る闘いを部落はもちろん部落内外の力で勝利していきます。

反対同盟の皆さん！すべての労働者人民の皆さん！

安倍政権と徹底的に闘い、それと結合することで三里塚闘争をさらに広げ市東さん、反対同盟の皆さんとともに控訴審闘争に勝利し、成田空港の廃港まで闘います。

2015年3月29日